

運輸安全マネジメントの取り組みについて

2019年2月1日
代表取締役 神保 朱美

1. 当社の輸送の安全に対する基本的な方針

- (1) 全社員に対し、輸送の安全が最も重要であるという意識を徹底するため、経営トップが主導的な役割を果たし、全社員が一丸となって取り組み、絶えず安全性の向上を図る。
- (2) 輸送の安全に関する取り組み状況等の情報について積極的に公表する。

以上を踏まえ、「2019年度の当社の運輸安全基本方針」は、

「安全輸送で安心と信頼を獲得」

とする。また、プロドライバーとしての自覚を高め、悪質違反を絶対に起こさないことで、事故防止とお客様からの信頼を更に継続していくことが輸送安全の基本と考え、次の2つをサブタイトルに掲げる。

「安全は最大の顧客満足」

「安全はすべての業務の基本動作」

2. 安全方針に基づく目標

- (1) 交通事故ゼロを貫徹しよう ゼロ 件
- (2) 酒気帯び運転、速度超過の撲滅 ゼロ 件

3. 目標達成のための計画

- (1) 教育
2019年度の安全教育計画にそって、全員が受講すること。
- (2) 社内安全対策会議
年間で2回以上開催する社内安全対策会議に専任運転者は全員参加。
- (3) 荷主様または協力会社との安全対策会議
年間で2回以上、同一の荷主様または協力会社と交通安全に関する対策会議を開催し、専任運転者は全員参加。
- (4) 表彰制度の活用
(TCS) 無事故運転者表彰制度にそって自覚を高める。

4. 情報交換

- (1) 社内および荷主様または協力会社との安全対策会議を通じて、他の事例を参考に

他山の石とせず、専任運転者の自覚を高める。

- (2) 交通渋滞情報、交通安全に関する情報を適宜メールで発信し、専任運転者に知らせる。
- (3) 専任運転者と経営陣との意見交換会を年2回以上開催し、安全上の問題点等の解決に傾注する。

5. 当社の安全に関する反省事項

2019年度の内部チェックを7月と1月に開催し、社内および営業所に掲示する。

6. 反省事項に関する改善方法

2019年度を通して、内部チェックにより把握した問題点の改善方法を後日、社内および営業所に掲示する。

7. 当社の前年度の目標と結果

目標	目標と結果	目標達成状況
(1) 人身事故	ゼロ 件	目標達成
(2) 酒気帯び、速度超過	ゼロ 件	目標達成

上記目標項目は、会社創業以来、ゼロ件 を継続しております。

8. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

2018年度 総件数 ゼロ 件

- 当社の年度は「当年2月1日～翌年1月31日」

以上